

令和5年度

Kashiwazaki Science Project

総合知課題研究ノート

大キーワード名

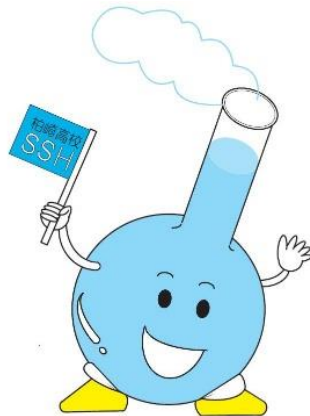
リサーチ・クエスチョン

___年___組 第()班

メンバー (◎班長 ○副班長)

◎ 番 _____
番 _____
番 _____

○ 番 _____
番 _____
番 _____



氏名

新潟県立柏崎高等学校
SSH部・1～3学年

柏崎から世界へ

古今東西
世界を動かしているのは、
水と食糧とエネルギー資源・・・

ここ柏崎には

海があった
山があった
川があった
海山川の食があった
鉄があった
石油があった
原子力があった

そして

柏崎高校には
国際交流があった

いま、

海とエネルギーのまち柏崎
から、
水・食・エネルギー
の観点で
世界を眺めてみよう
新しい世界が見えるかも・・・

さあ、総合知の世界へ！

研究活動のポイント

※下記1～6の要素を含んでいること

1 答が決まっていない問いとその目的・目標を設定

※答が決まっているものは調べれば終了（調べ学習）

2 フィールドワークを行う

- 詳しい人や専門家を訪問、指導助言
- 取材（オンライン取材も含む）
- 現地見聞調査
- 本物・実物・実態を見て情報収集

3 資料調査を行う

- 書籍・論文・公文書など、公的で信用性のあるものを利用する。

※インターネットの情報は検閲を受けていないものも多いので、そのまま鵜呑みにできない。

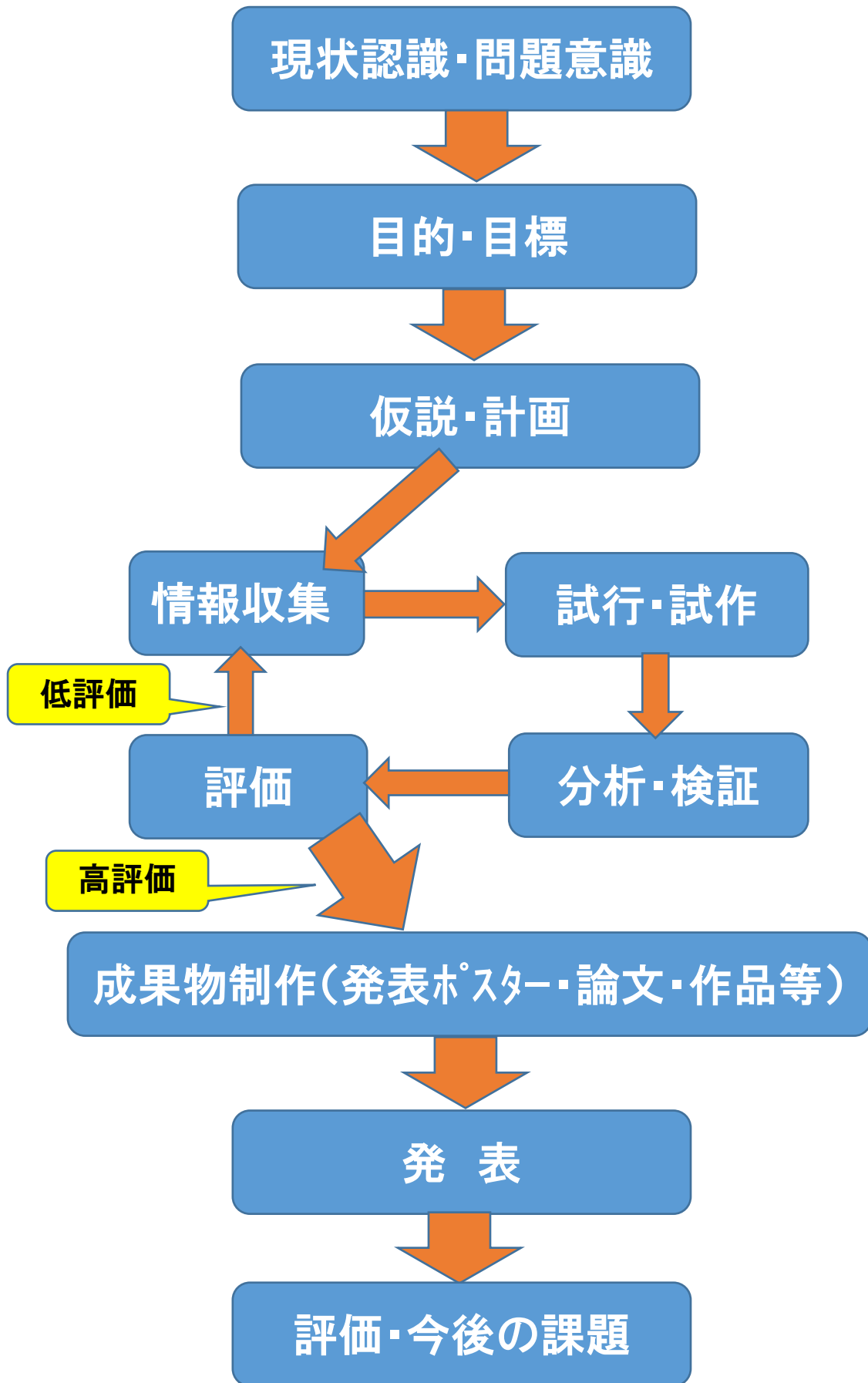
4 実験・観察や試行・試作を行う

5 オリジナルの分析と結論または、オリジナルの成果物を出す。

【重要】できるだけ高い品質（クオリティ）になるよう努力する

6 今後の課題を分析

探究活動の流れ



A 研究の目的・目標 (何のために、どのような成果を目指すか)

--

B 研究の仮説 (どうすれば、目指す成果が得られると考えるか)

--

C 活動計画

期日	実行すること (具体的に)	備考
4月11日(火)		
4月25日(火)		
5月2日(火)		
5月9日(火)		
5月23日(火)		
5月30日(火)		
6月6日(火)		
6月20日(火)		
6月27日(火)		
7月11日(火)		
7月18日(火)		
8月29日(火)		
9月5日(火)		

期日	実行すること（具体的に）	備考
9月12日(火)		
9月19日(火)		
10月17日(火)		
10月24日(火)		
10月31日(火)		
11月7日(火)		
11月14日(火)		
11月21日(火)		
11月28日(火)		
12月12日(火)		
12月19日(火)		
1月9日(火)		
1月23日(火)		
1月30日(火)		
2月6日(火)		
2月20日(火)		
2月22日(木)		
2月27日(火)		
3月4日(月)		
3月12日(火)		
3月14日(木)		

D 情報収集について

①初期調査

インターネット、書籍、本校・他校の課題研究報告書等を活用して、現状と課題、先行研究、類似研究を調べる。

論文検索サイト

1) Google Scholar

<https://scholar.google.co.jp/>

2) J-STAGE

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja/>

3) CiNii Reseach

<https://cir.nii.ac.jp/>

現状と課題の調査をしてわかったことを記録

先行研究や類似研究の調査をしてわかったことを記録

②本校図書室や市立図書館（ソフィアセンター）、インターネット等で文献調査（書籍、論文、公文書などの調査）
 ※参考にした文献名等を下表に記録しておく

（具体的な内容は活動の記録に記載）

文献名	出版社名	著作者名

柏高図書館および柏崎市立図書館ソフィアセンターの利用について

1. 柏高図書館の活用：レファレンス用紙に必要事項を記入して、司書室・立先生に提出（立先生が調べる時間を考慮して事前が望ましいが、当日でも対応可）。
2. ソフィアセンターへの照会：ソフィアセンターに照会する必要があるものは、レファレンス用紙をソフィアセンターにFAX（立先生がFAXしてくれます）。
3. ソフィアセンターから返事が来たら担任を通じて班へ渡す。
4. ソフィアセンターに行って資料を利用する（外出許可証を忘れずに）。

図書室・ソフィアセンターへの 課題研究に関するレファレンス

>>>以下のプロジェクトに関連する資料を探しています。<<<

小キーワード名

リサーチ・クエスチョン

____年 第(____)班

メンバー (◎班長 ○副班長)

◎ 組	_____	○ 組	_____
組	_____	組	_____
組	_____	組	_____

「このような資料を探しています」、ほか、プロジェクトに関する図書館への質問など・・・

(書き切れない場合は裏面も使用のこと)

新潟県立柏崎高等学校 SSH 部・学年

- ③校外の専門家を訪問・取材（オンライン取材も含む）し、説明・指導・助言を受けた場合、下表に記録しておく。
（具体的な内容は活動の記録に記載）

訪問日時	所属団体名	氏名	連絡先

取材申込について

- 1 取材申込書に必要事項を記入し、担当教員に提出してください。
（遠方の場合はオンライン取材を希望する旨を記入してください。）
- 2 担当教員が取材先に事前のアポイントメントをとります。
- 3 取材先から承諾および取材受入候補日時の連絡が来たら、取材先に連絡を取って、受け入れに対するお礼と取材日時の連絡をしてください。
- 4 取材当日は失礼のない言葉遣いで、はきはきた明るい態度で臨んでください。積極的に話を聞き、メモを取って、質問をしてください。感謝の気持ちを忘れずに。
（E 校外の団体や個人を訪問する場合のマナーを参照のこと）

柏崎高校 KSP 課題研究に関する取材申込

※KSP： Kashiwazaki Science Project の略

取材希望先

御中

>>> 下記の研究テーマに関連する課題研究をしています。お忙しいところ済みませんが、本テーマについて、生徒が調査・取材をさせていただきたいのでご協力をよろしくお願いします。

リサーチ・クエスチョン（研究テーマ）

年 組 第 () 班 担当教員

希望日時：

第1希望 月 日 () : ~ :

第2希望 月 日 () : ~ :

第3希望 月 日 () : ~ :

班長 _____ 副班長 _____

取材人数 _____ 人

取材内容・質問など

(書き切れない場合は裏面も使用のこと)

新潟県立柏崎高等学校 SSH 部・() 学年

④現地調査（現地に行って実態を見ること）をした場合
下表に記録しておく。

（具体的な内容は活動の記録に記載）

会場名	住所

E 校外の団体や個人を訪問する場合のマナー

- 校外の団体や個人を訪問する場合は、あらかじめアポイントを取ってから訪問して下さい。
- アポイントの取り方

①自分から名乗り、あいさつをする

※学校名・学年・自分の名前をはっきりと伝える

「柏崎高校 1 年の〇〇 〇〇と申します。お世話になっております。」

②担当者がわかっている場合は、取り次いでもらう。

「□□様は、いらっしゃいますでしょうか。」

本人とつながったら、改めて学校名・学年・自分の名前を伝えて、その後本題に入ります。

③手短かに用件を伝える

「柏崎高校の課題研究の授業の一環で、◇◇についてお聞きしたいので、××月△△日の●●時に、□□様を(貴社を)お訪ねしてよいでしょうか。」

④相手の回答に対する対応～電話を切るまで

【相手が訪問を了承した場合】

「ありがとうございます。それでは、××月△△日の●●時にお伺いさせていただきます。よろしくお願いいたします。では、失礼いたします。」

【相手が訪問を断った場合】

- 日時を変更すれば可能な場合

「承知いたしました。それでは、いつ頃がご都合よろしいでしょうか。」

- 訪問自体を断られた場合

「承知いたしました。また機会がありましたら、よろしくお願いいたします。では、失礼いたします。」

- 訪問先では




「今日は私達のために時間を取っていただき、ありがとうございます。よろしくお願いいたします。」

F 活動の記録 1

活動日 月 日 ()	活動場所
調査・実験・観察内容およびその結果、わかったこと。今後の課題	

【自己評価】

それぞれの観点において、当てはまる事柄(文章)にすべて○を付けてください(複数回答可)。

各学年の到達目標		1年次の到達目標	2年次の到達目標	3年次の到達目標	小計 (○の数)
評価の観点	I [Ideas] -アイデア-	C[Connections] -つながり-	E[Extensions] -応用-	思考力・判断力・表現力	
	知識・技能 (○1個につき1点)				
ICE評価の概念		知識の蓄積や基礎技術の習得、情報収集ができていますか? 	複数の事柄を関係付けて考えることができますか? 知識と日常生活での経験をつなげることができますか? 	根拠を持って予測を立てられていますか? 今までの知識を総動員して、未知の課題に論理的に取り組んでいますか? 	
情報収集力 (主体性)	課題発見力	積極的な情報収集により研究課題を見つけることができる。	研究の動機や目的、意義との結びつきが明確な研究課題を設定できている。	研究の動機や目的、意義が社会に役立ちそうなくわくする研究課題を設定できている。	点
	研究推進力	研究課題に関連する先行研究や現状について、フィールドワークおよび図書館・博物館等の文献資料調査などの活動により、積極的に情報収集を行い、視野を広げた。	関連する基礎知識や先行研究の情報をもとに独自の仮説を立て、仮説を実証するための研究計画を確立している。	仮説を実証するための研究計画が実効性が高く、校内外の関係者と連携して研究を進めることができる。	点
論理的思考力	検証・考察力	実験や調査のデータおよび基礎的知識が十分にある。クリティカルシンキングや仮説思考など、研究のための思考法を理解し、実践できる。	実験や調査のデータおよび基礎的知識が十分に得られており、そのデータがわかりやすく整理され、データ分析に基づく適切な考察がなされている。	十分かつ正確なデータおよび基礎的知識が論理的に整理・結合され、優れたデータ分析と考察がなされている。	点
	研究総括力	結果や考察から客観的根拠をもとに結論を導くことができる。	結果や考察から、客観的根拠をもとに論理的で説得力のある結論を導くことができる。	結果や考察から、客観的根拠をもとに論理的で説得力のある結論が導かれており、さらに応用面や課題面まで導かれている。	点
表現力 (主体性)	プレゼンテーション力(コミュニケーション力)	研究内容を十分に理解し、大きな声で他者に簡潔にわかりやすく説明できる。	聴き手にわかりやすい発表であり、質疑応答でも適切に回答できる。	聴き手の興味をそそる発表であり、質疑応答での受け答えも優れている。	点
	情報発信力	ポスターや研究の要旨が他者に簡潔にわかりやすくまとめられている。	ポスターやプレゼンテーション資料が他者に見やすく、かつわかりやすくまとめられている。	他者の興味・関心を引き付けるポスターや論文である。	点
ICE評点		I 得点(知識・技能) (6点満点(○の数))	C得点 (6点満点(○の数))	E得点 (6点満点(○の数))	総計 /18
		点	点	点	点

所見・感想